

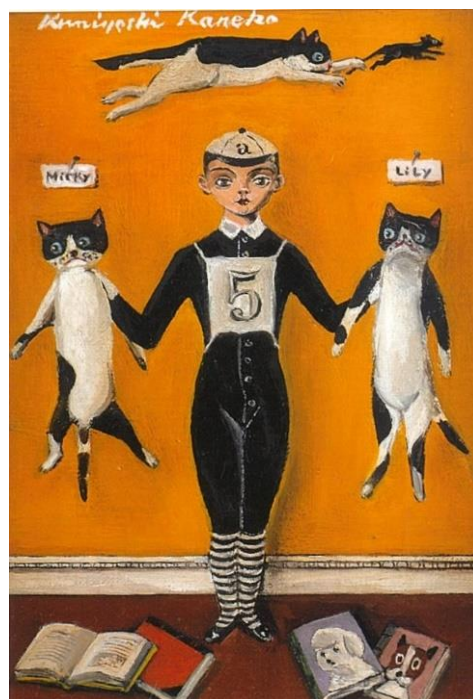
開館 50 年 笠間日動美術館

2022(令和 4)年度 特別展

2022 年 3 月 19 日(土)~5 月 15 日(日)

藤沢市蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれⅡ

東日本大震災にみまわれた 2011 年の夏、人々にいやしをもたらした「猫まみれ展」が、さらなる収集品を加えて笠間日動美術館に帰ってきます。愛くるしさ、しなやかさ、野性、神秘…古来より人は、ネコが持つさまざまな面に魅せられてきました。「招き猫亭コレクション」は、ネコに魅せられた夫婦が 40 年にわたって蒐集した、ネコをモチーフとする美術作品群です。本展では歌川国芳の浮世絵や藤田嗣治、横尾忠則らをはじめ猫に魅せられたアーティストによる、古今東西の作品 100 点余りを紹介いたします。人々の心をとらえて離さないネコの魅力を、アートを通してご堪能ください。



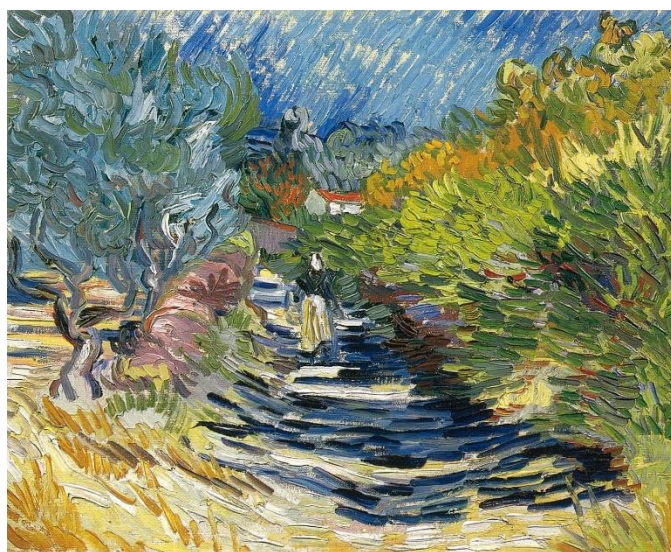
金子國義「Micky & Lily」2002 年 藤沢市蔵

2022 年 5 月 21 日(土)~7 月 3 日(日)

開館 50 年記念 パリ、東京、ニューヨーク モダンアートの軌跡

1972 年に開館した笠間日動美術館は、2022 年に開館 50 年を迎えます。本展では、これまで当館で蒐集したコレクションを中心に、パリ、東京、ニューヨークで活躍した画家たちの作品を、時代ごとに展示します。

印象派のクロード・モネをはじめ、パリで活躍したパブロ・ピカソや藤田嗣治、またアメリカン・アートのスター作家であるアンディ・ウォーホルやロイ・リキテンスタインなど、近代美術における巨匠たちをご紹介します。あわせて日本洋画史において各時代を代表する高橋由一や藤島武二、安井曾太郎らによる作品を展示し、国内外のモダンアートの軌跡をたどります。



フィンセント・ヴァン・ゴッホ「サン＝レミの道」1889-1890 年

笠間日動美術館

2022年7月16日(土)~9月25日(日)

絵の中のワンダーランド

『不思議の国のアリス』にモチーフを求める渡邊榮一、ウサギを擬人化して描く原太一、たくさんのユーモラスなキャラクターが登場する美馬匠吾の作品など、現代洋画壇の画家たちが創造する二次元のワンダーランドにご案内します。大人から子供まで楽しめる展覧会に、どうぞご家族でお出かけください。



渡邊榮一「少年王国《アリス、君は誰なの?》」



「少年王国《旅の仲間》」2015年(2点1組) 笠間日動美術館蔵

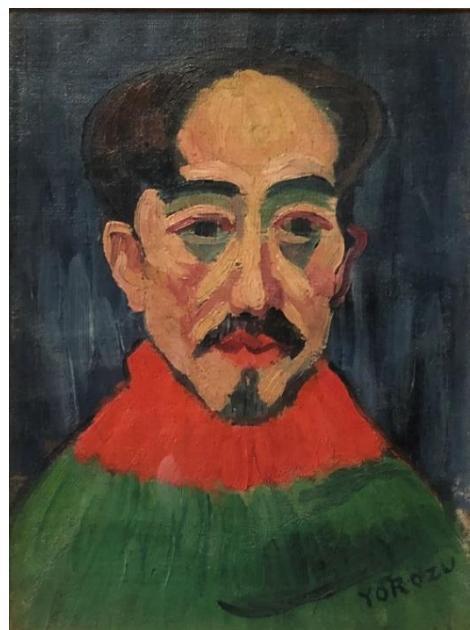
2022年10月1日(土)~12月18日(日)

開館50年記念 夭折の画家たち -青春群像-

新たな運動が展開された日本の近代美術を振り返ると、青木繁(1882-1911)や関根正二(1899-1919)、村山槐多(1896-1919)、佐伯祐三(1898-1928)、岸田劉生(1891-1929)、三岸好太郎(1903-1934)、松本竣介(1912-1948)など、若くして亡くなった画家は少なくありません。

彼らの活躍した時代は、1910年代に謳われた個性の尊重や自己の肯定といった思想や、大正デモクラシーなどの空気から権威や形式に囚われず、新たな表現や個性の尊重が主張された時代でした。自身の内面を見つめ、ほとぼしる若さと激情から描かれた彼らの作品からは、制作の喜びや苦しみ、そして生命のあり方まで読み取ることができます。

本展では、当館所蔵品に加え、遺族、美術館、個人からご協力をいただき展示する予定です。今もなお私たちの心をふるわせる夭折の画家たちによる作品にご期待ください。



萬鉄五郎「赤マントの自画像」1912年

笠間日動美術館蔵